

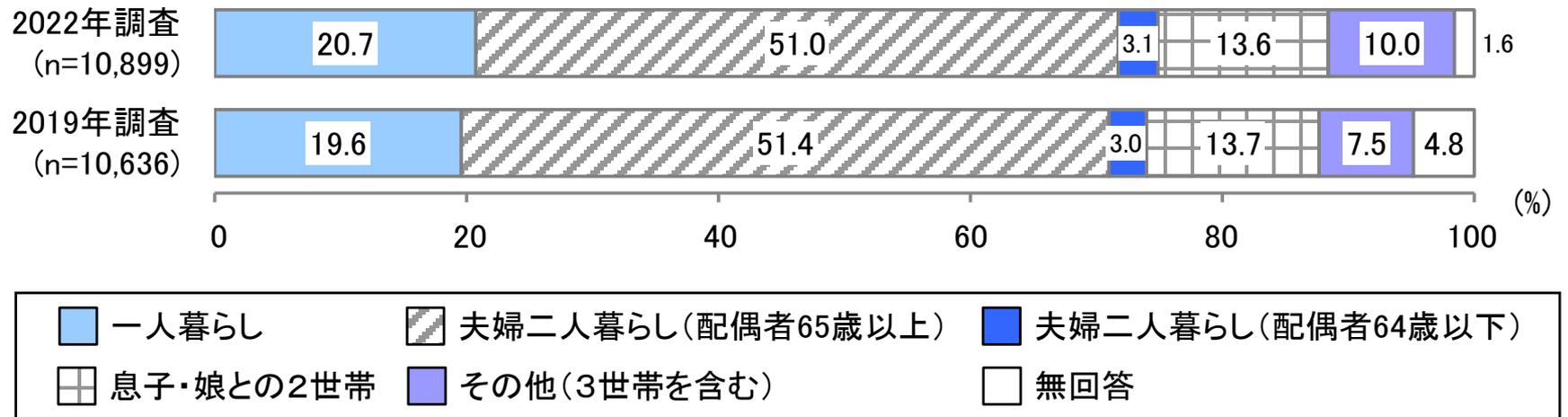
健康とくらしの調査 調査結果

2022年度

神戸市

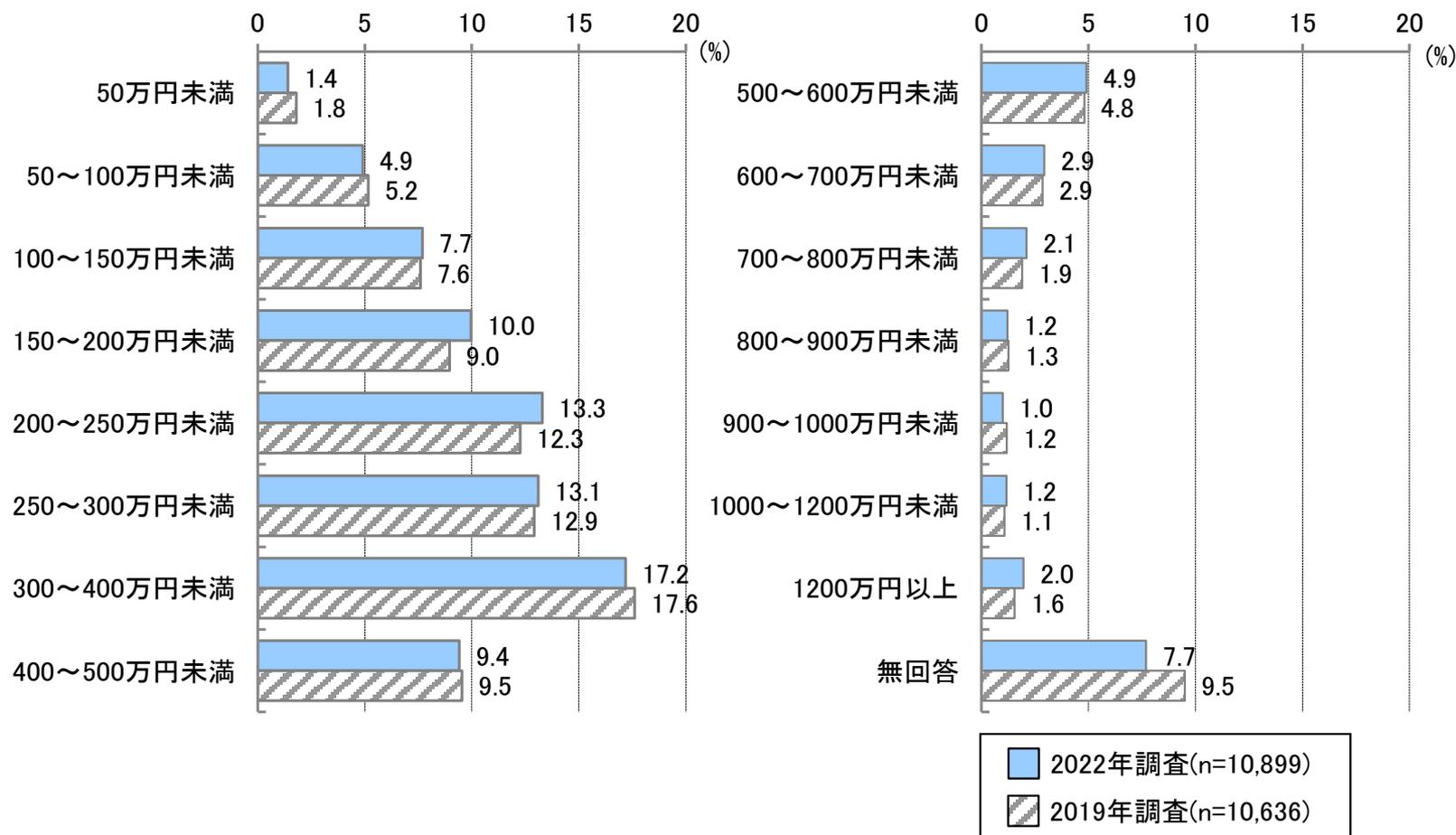
家族構成

- 家族構成については、「その他（3世帯を含む）」（10.0%）が2019年調査より2.5ポイント高くなっている。



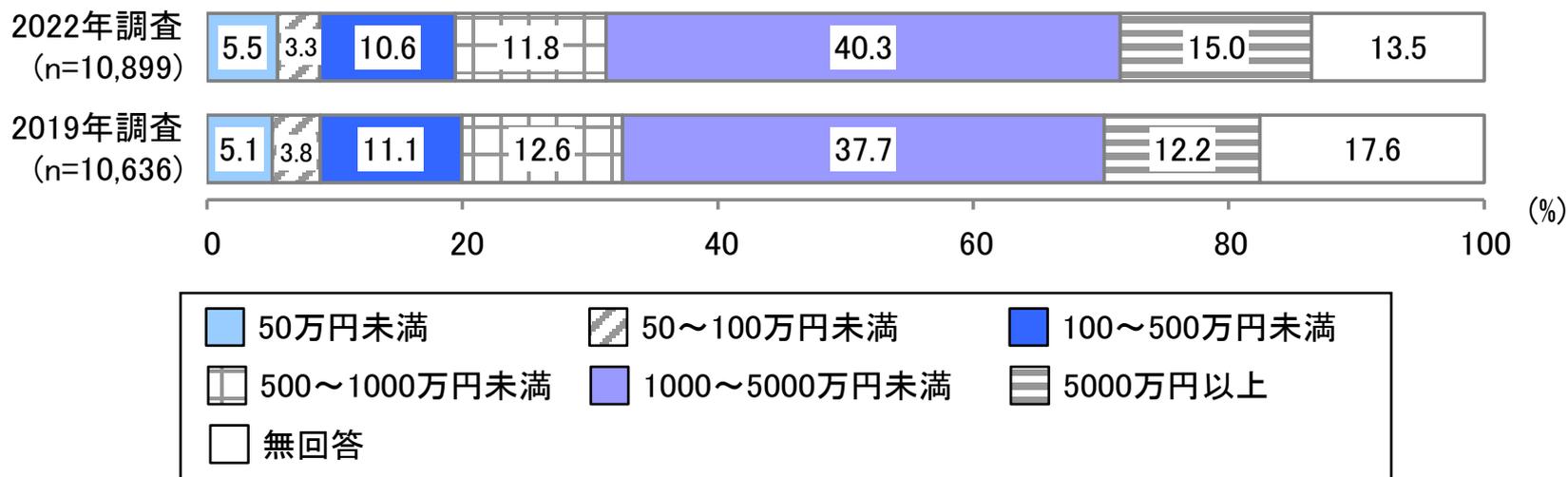
世帯全体の合計収入額

- 世帯全体の合計収入額については、「300～400万円未満」(17.2%)が最も多く、大きな差はみられない。



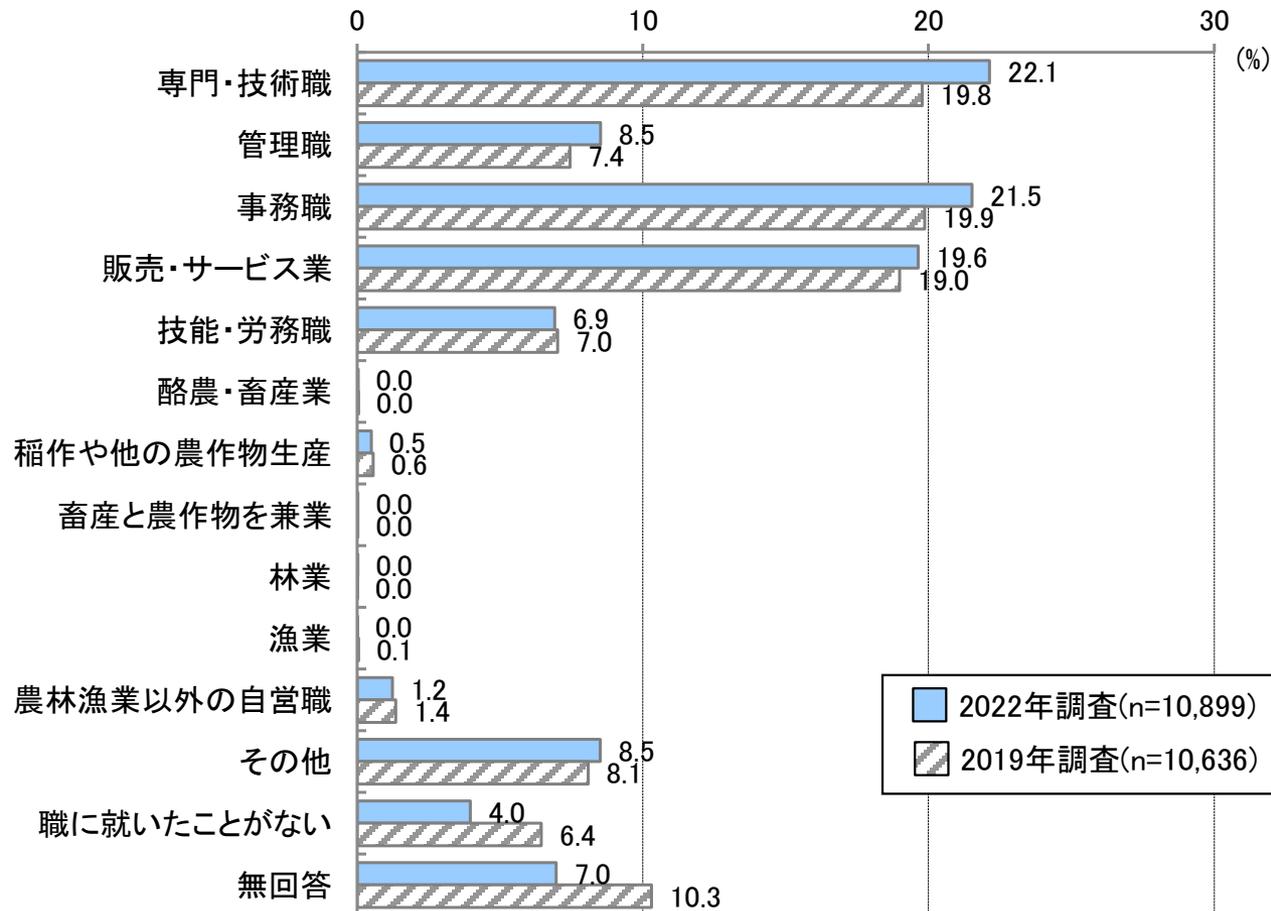
全ての資産の合計額

- 全ての資産の合計額については、2019年調査より「1000～5000万円未満」(40.3%)が2.6ポイント、「5000万円以上」(15.0%)が2.8ポイント、それぞれ高くなっている。



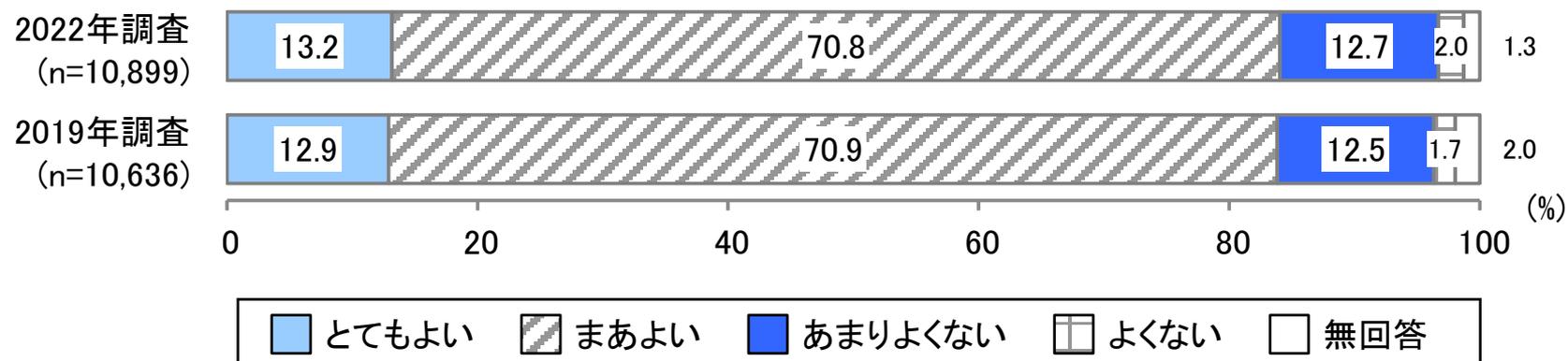
最も長く勤めた職種

- これまでの仕事の中で、最も長く勤めた職種については、「専門・技術職」(22.1%)が最も多く、2019年調査より2.3ポイント高くなっている。



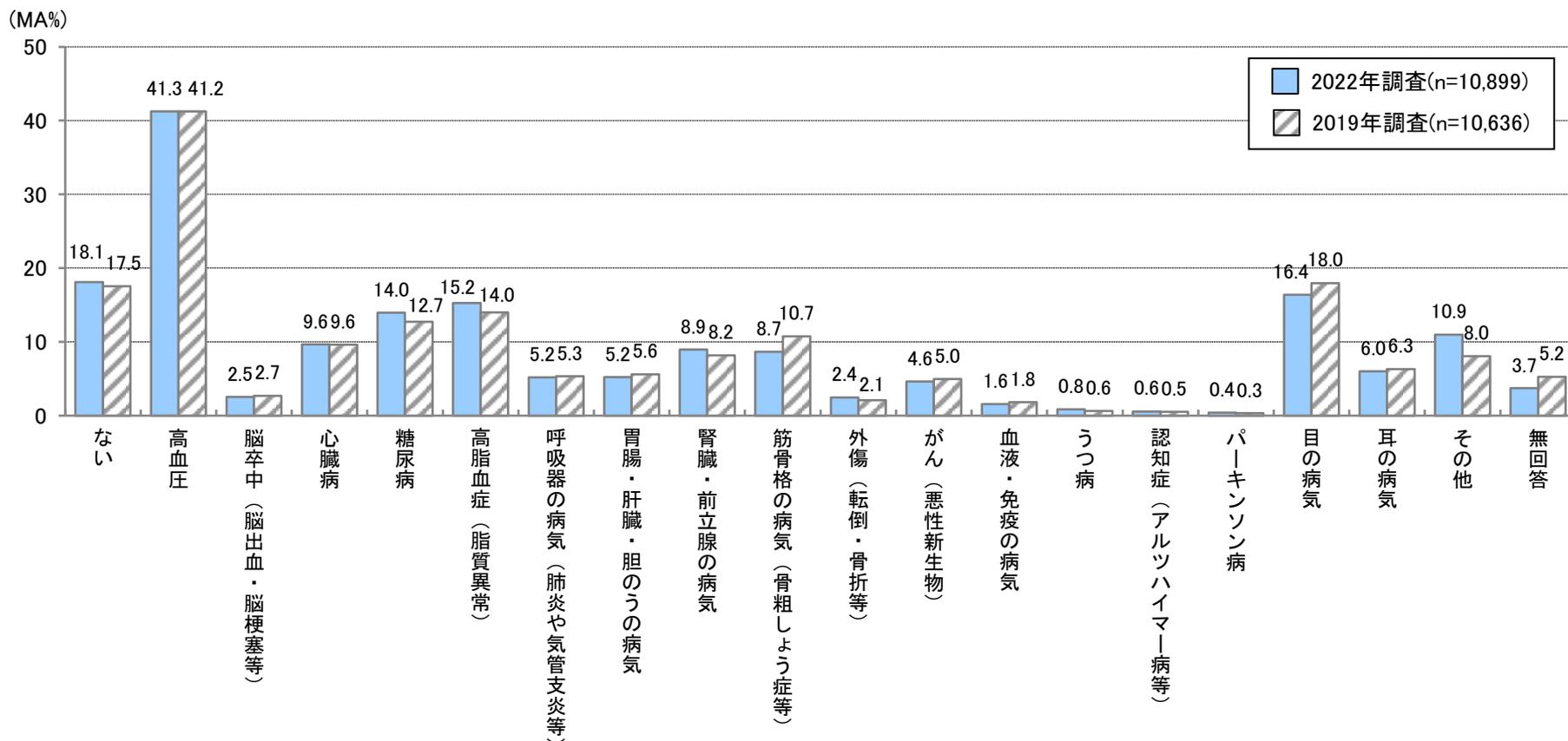
健康状態

- 健康状態は、『よい』（「とてもよい」 + 「まあよい」の計）が84.0%を占めており、大きな差はみられない。



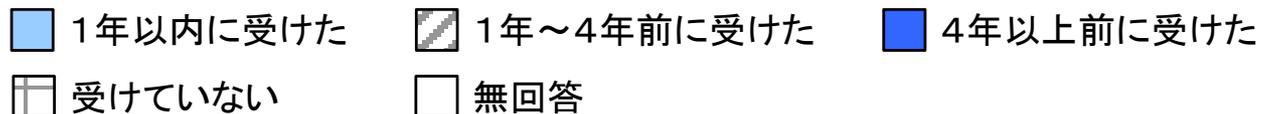
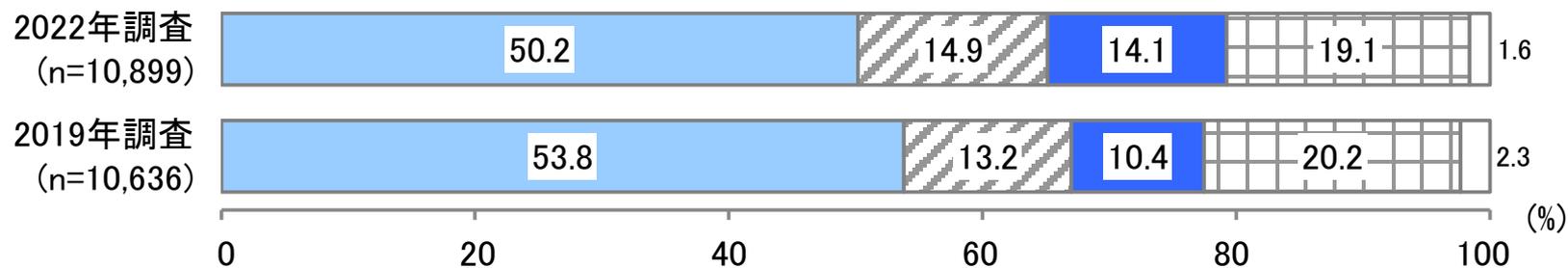
現在治療中または後遺症のある病気

- 現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が41.3%で最も多く、2019年調査とは大きな差はみられない。



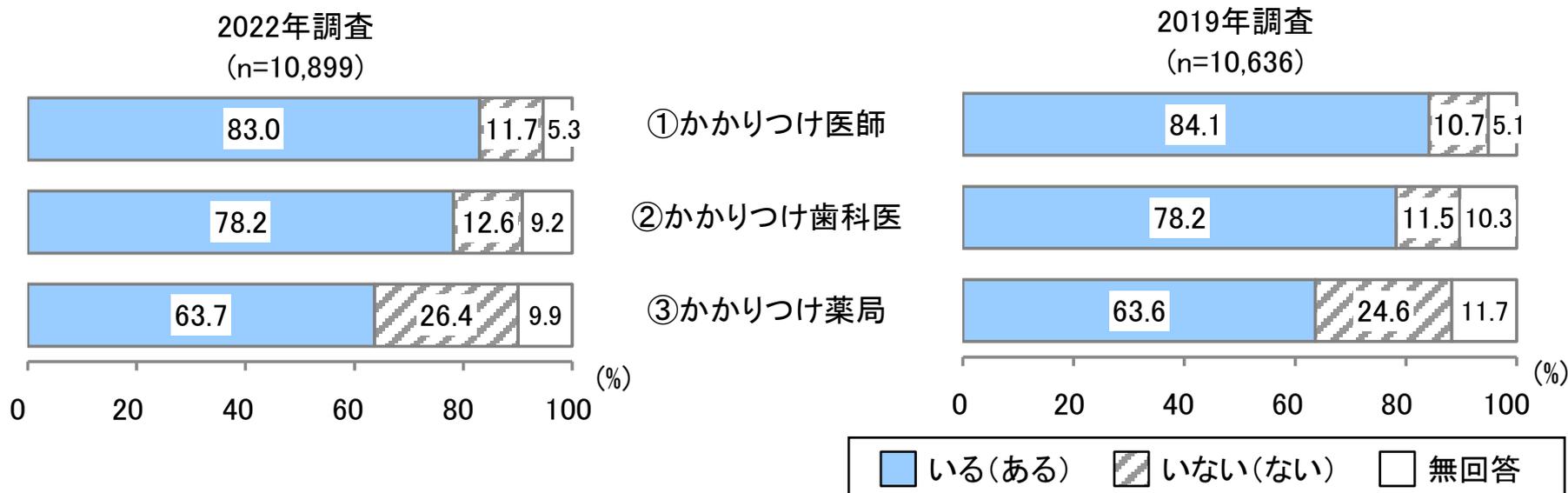
健診や人間ドックの受診状況

- 健診や人間ドックを「1年以内に受けた」（50.2%）は2019年調査より3.6ポイント低くなっている。



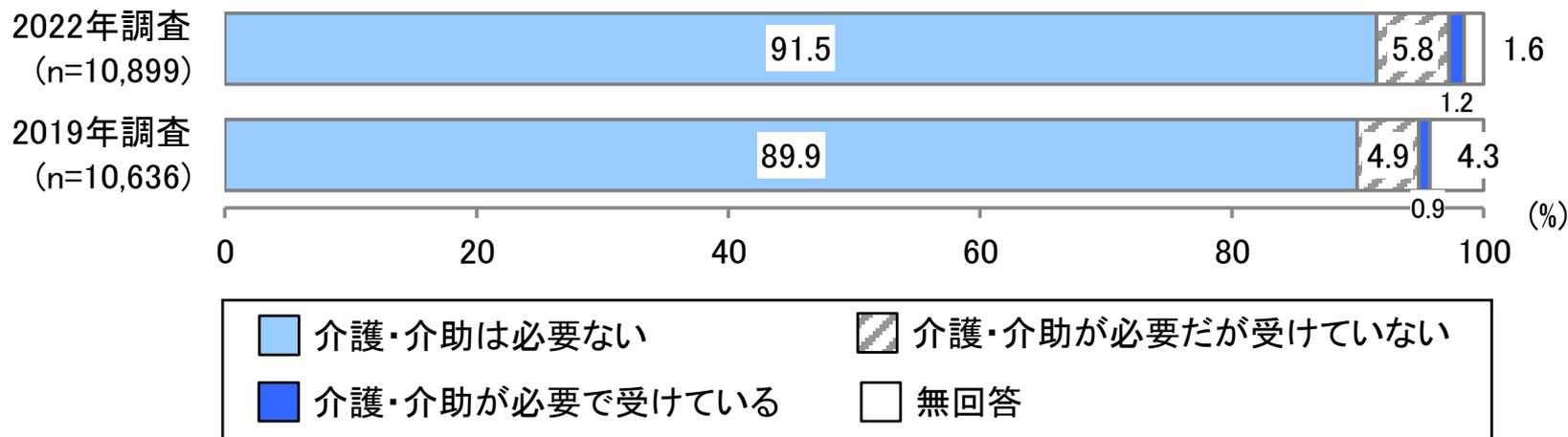
かかりつけの医師・歯科医師・薬局の有無

- かかりつけ医師、かかりつけ歯科医師、かかりつけ薬局のいずれも「いる（ある）」に大きな差はみられない。



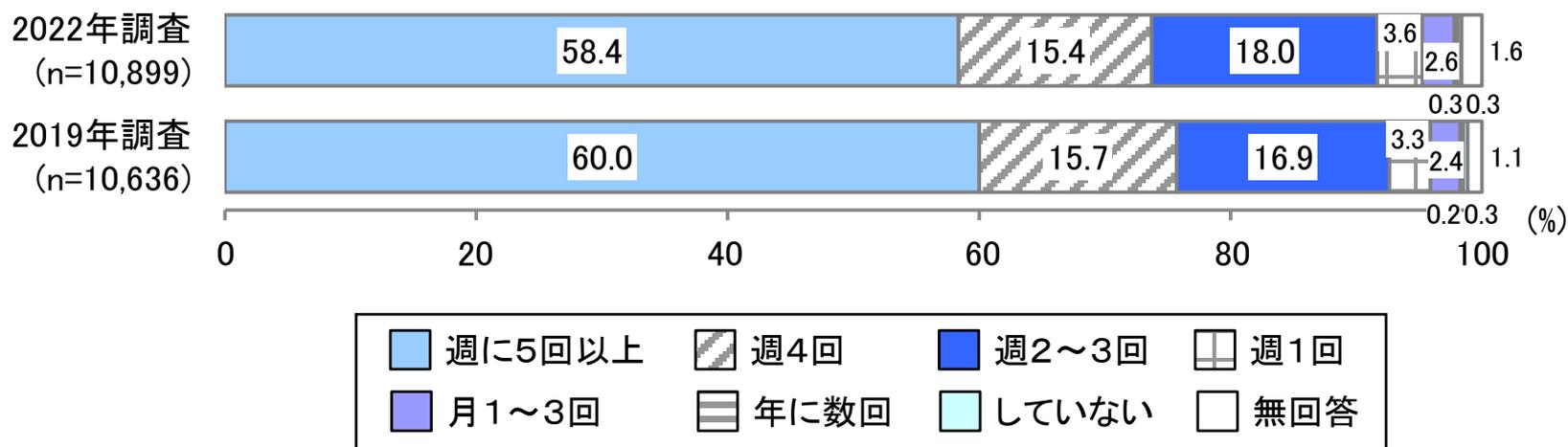
介護・介助の必要性

- 普段の生活で介護・介助が必要かについては、「介護・介助は必要ない」(91.5%)が2019年調査より1.6ポイント高くなっている。



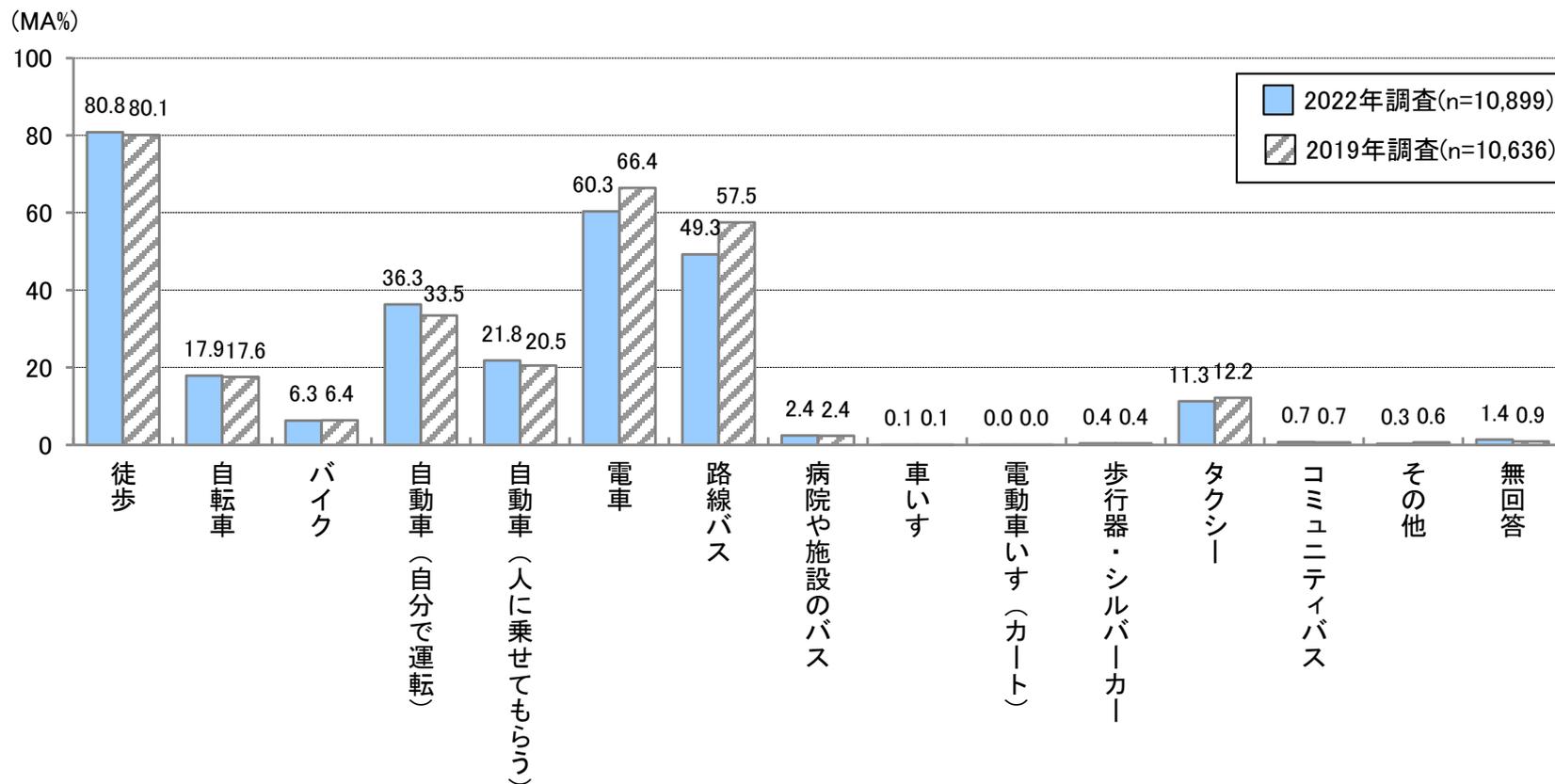
外出頻度

- 外出する頻度は、『週1回以上』（「週に5回以上」+「週4回」+「週2～3回」+「週1回」の計）は95.4%で、2019年調査より0.5ポイント低くなっている。



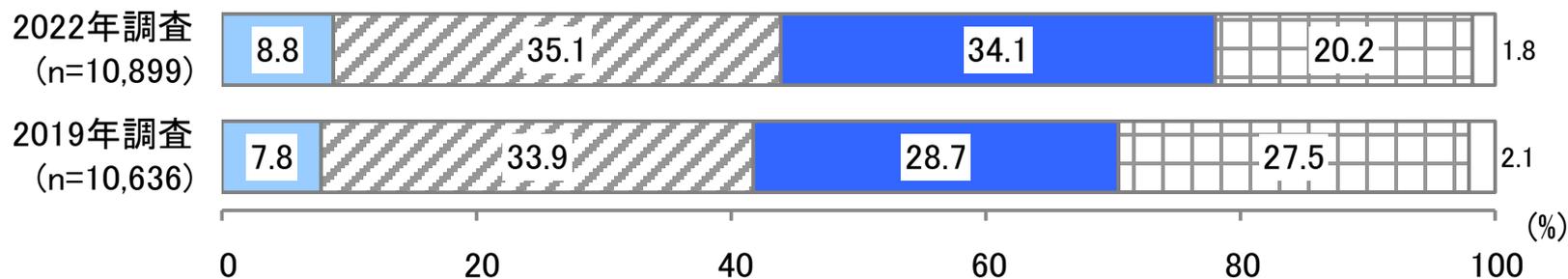
外出時に利用している交通手段

- 外出時に利用している交通手段は、「徒歩」(80.8%)が最も多く、2019年調査と同程度となっている。一方、「電車」(60.3%)は6.1ポイント、「路線バス」(49.3%)は8.2ポイント、それぞれ2019年調査より低くなっている。



転倒に対する不安

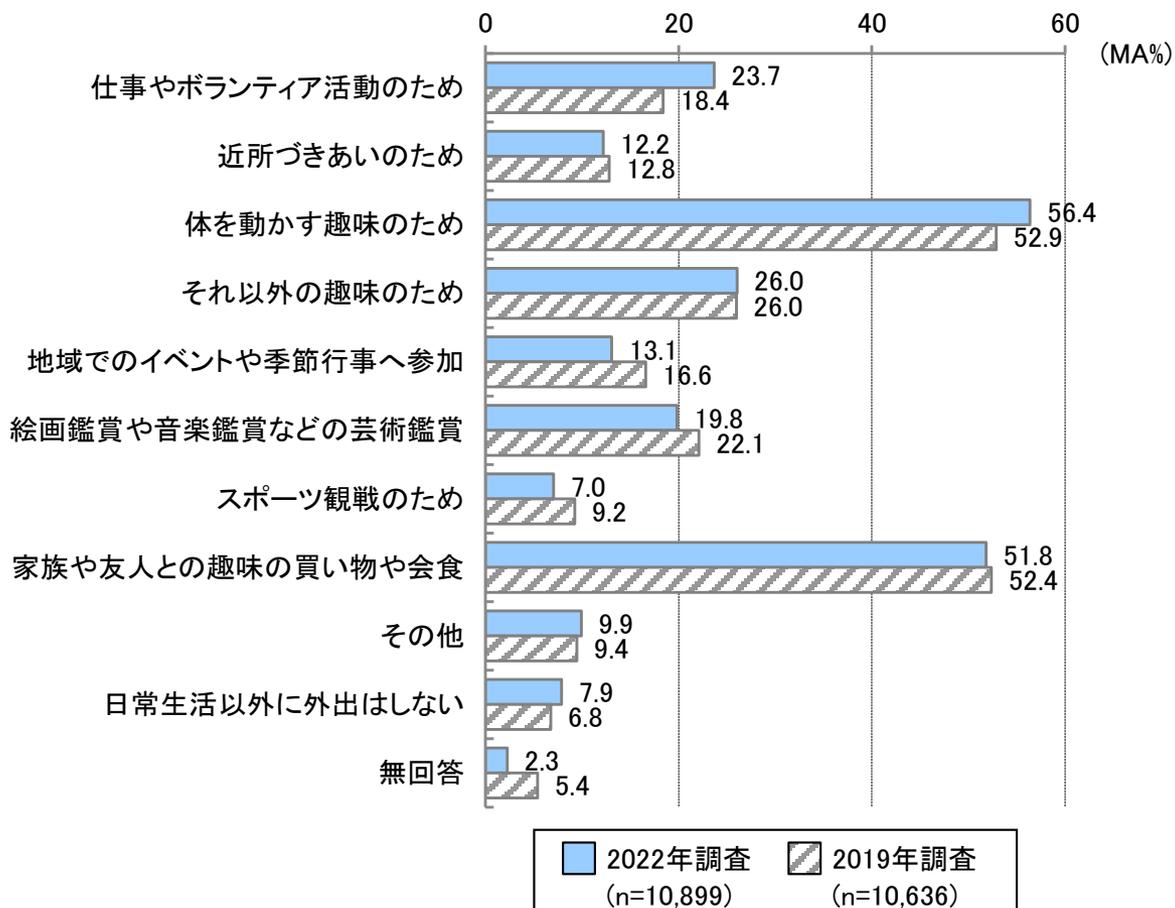
- 転倒に対する不安については、『不安である』（「とても不安である」＋「やや不安である」の計）が43.9%で、2019年調査より2.2ポイント高くなっている。



■ とても不安である ■ やや不安である ■ あまり不安でない ■ 不安でない ■ 無回答

買い物、通院など以外で外出する主な目的

- 日常生活以外で外出する主な目的について、「仕事やボランティア活動のため」(23.7%)が2019年調査より5.3ポイント高くなっている。



新型コロナの予防接種の有無

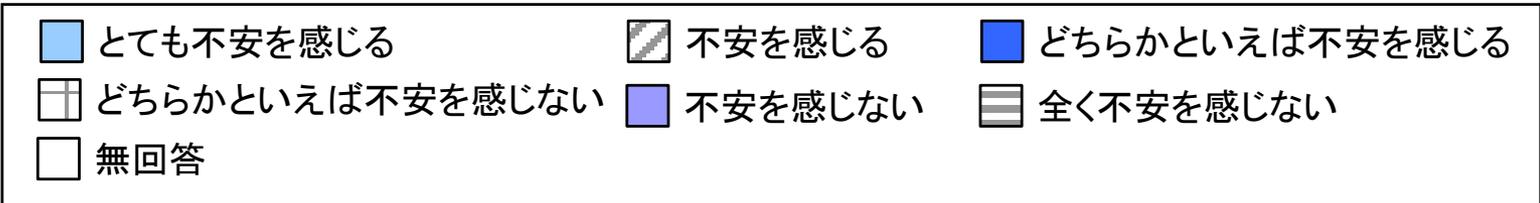
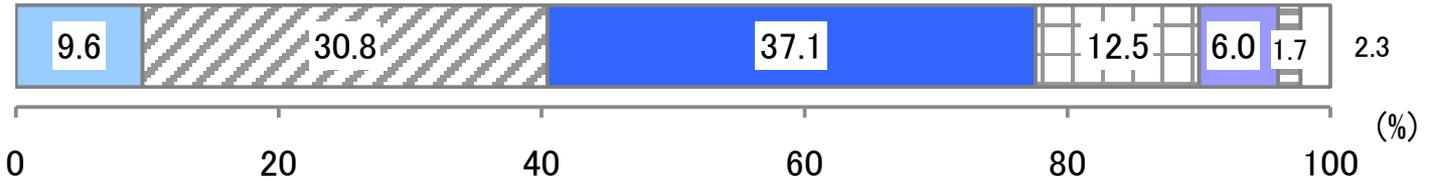
- 新型コロナの予防接種を受けたかについて、「3回以上受けた」が91.4%となっている。一方、「受けなかった」は4.1%となっている。



新型コロナに対する不安感

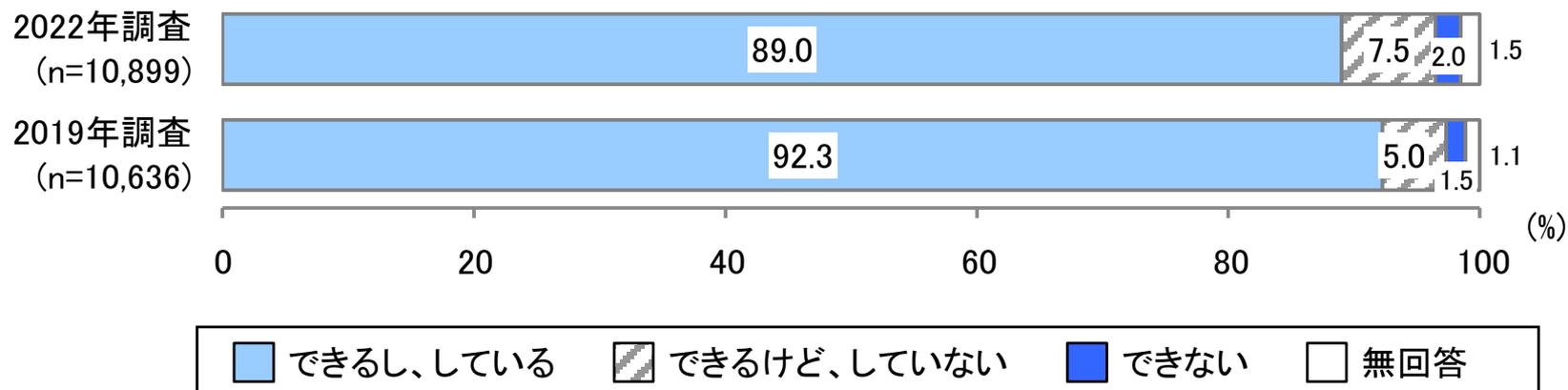
- 新型コロナに対して不安を感じるかについて、『不安を感じる』（「とても不安を感じる」+「不安を感じる」+「どちらかといえば不安を感じる」の和）は77.5%となっている。

2022年調査
(n=5,311)



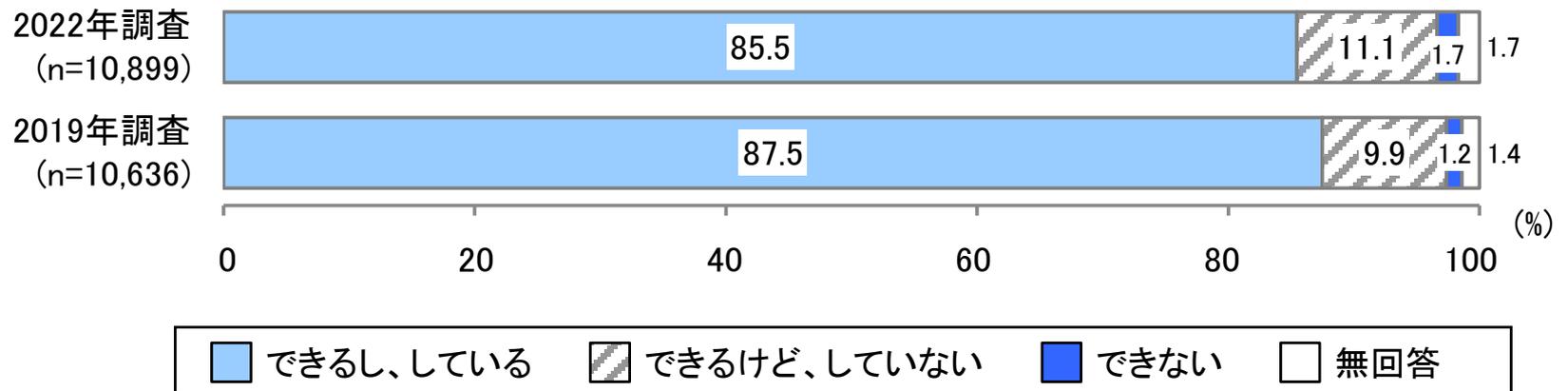
バスや電車を使って1人での外出

- バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」(89.0%)が最も多く、2019年調査より2.7ポイント低くなっている。



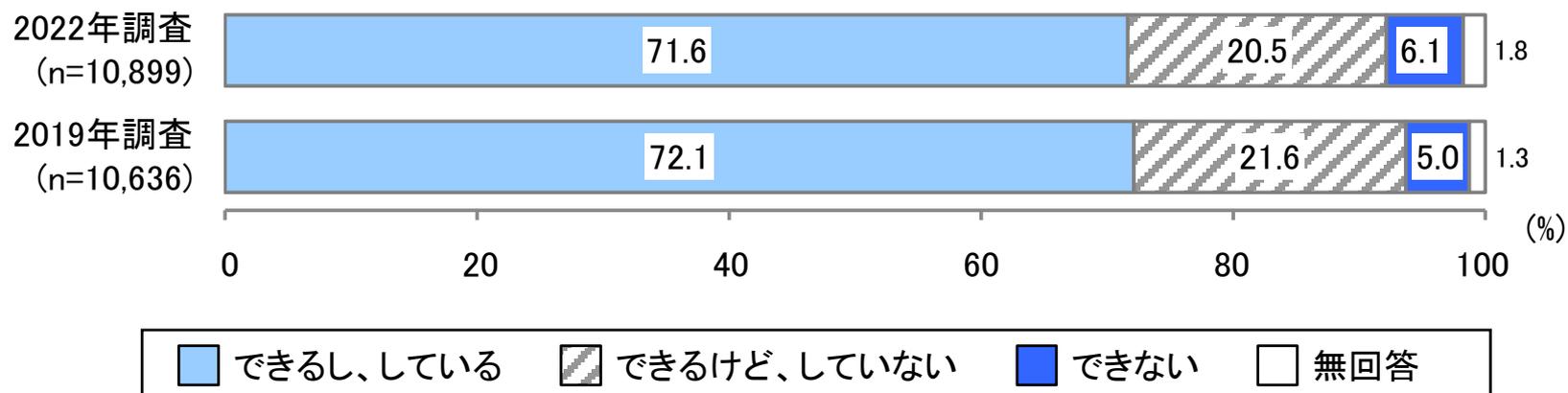
自分で食品・日用品の買い物

- 自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できるし、している」(85.5%)が最も多く、大きな差はみられない。



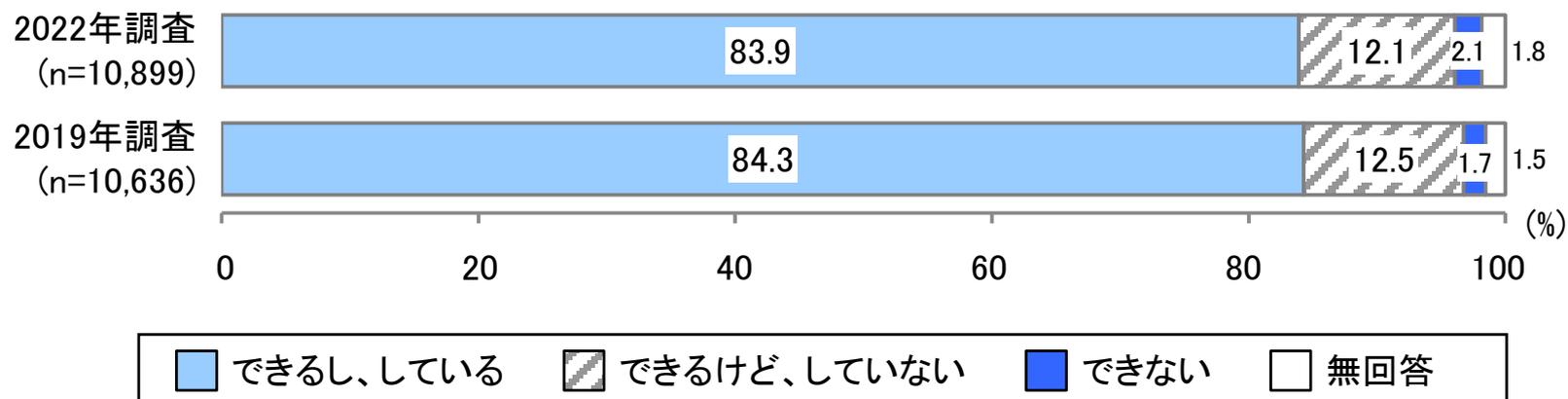
自分で食事の用意

- 自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」(71.6%)が最も多く、大きな差はみられない。



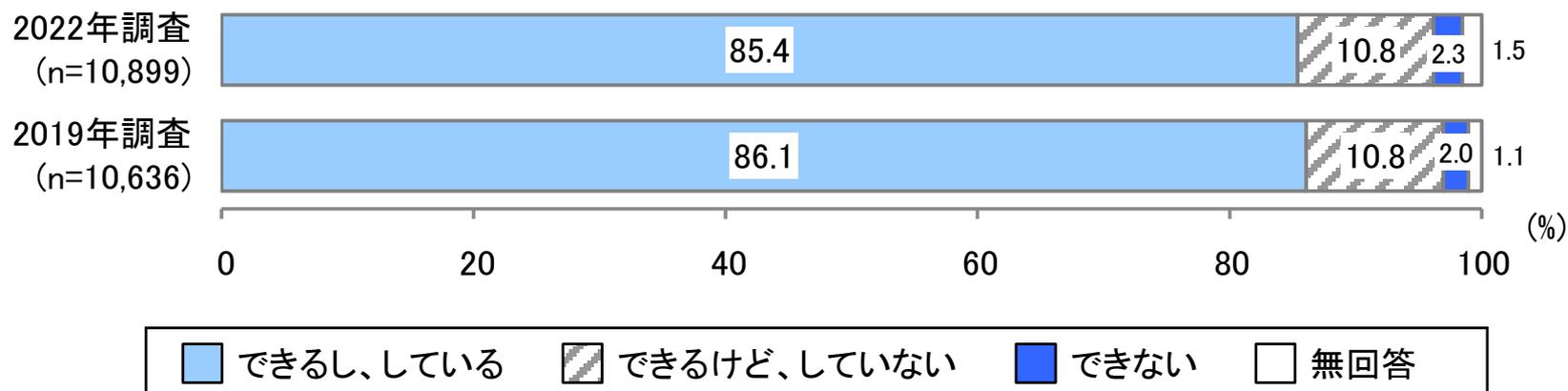
自分で請求書の支払い

- 自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」(83.9%)が最も多く、大きな差はみられない。



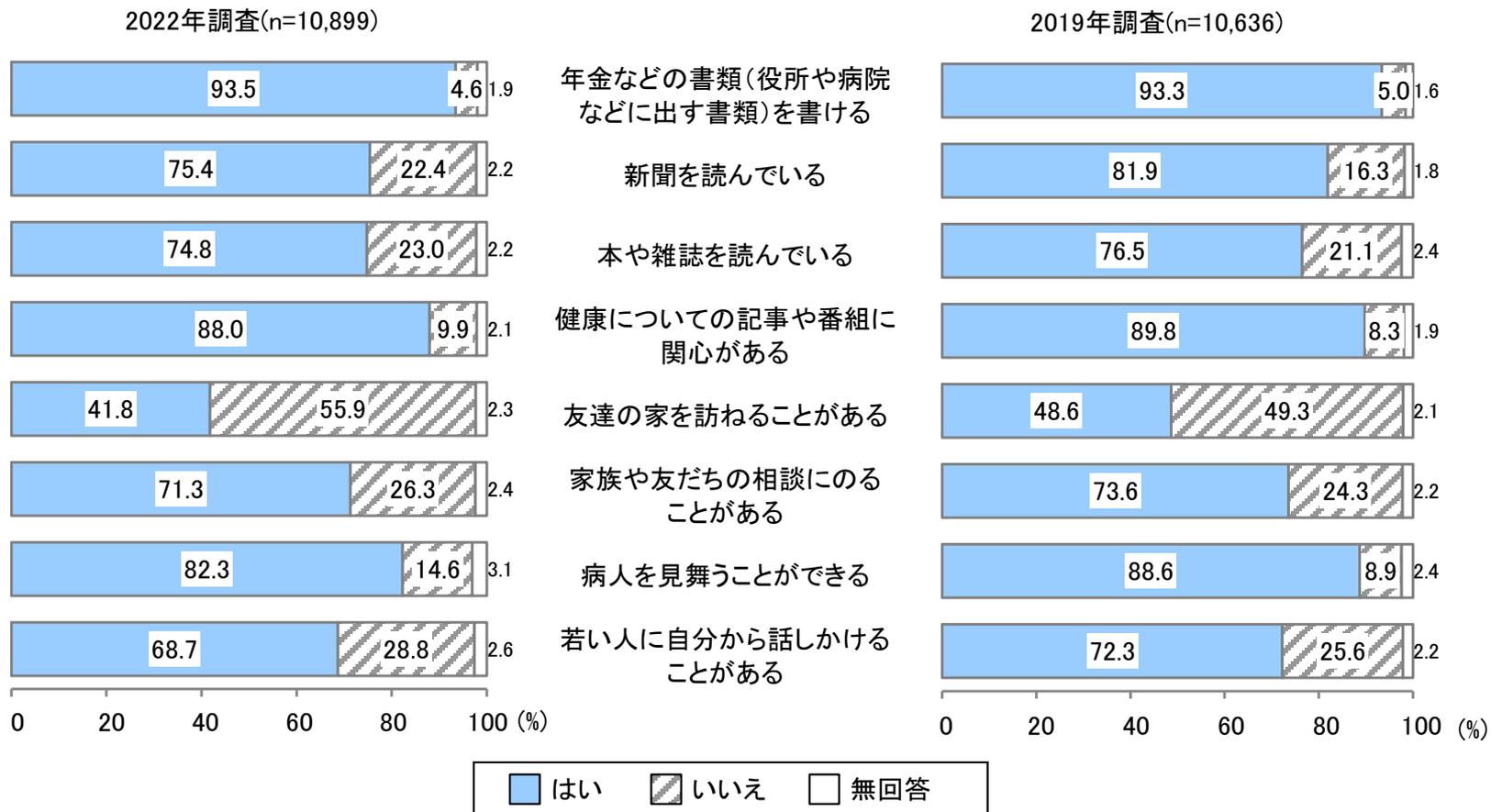
自分で預貯金の出し入れ

- 自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」(85.4%)が最も多く、大きな差はみられない。



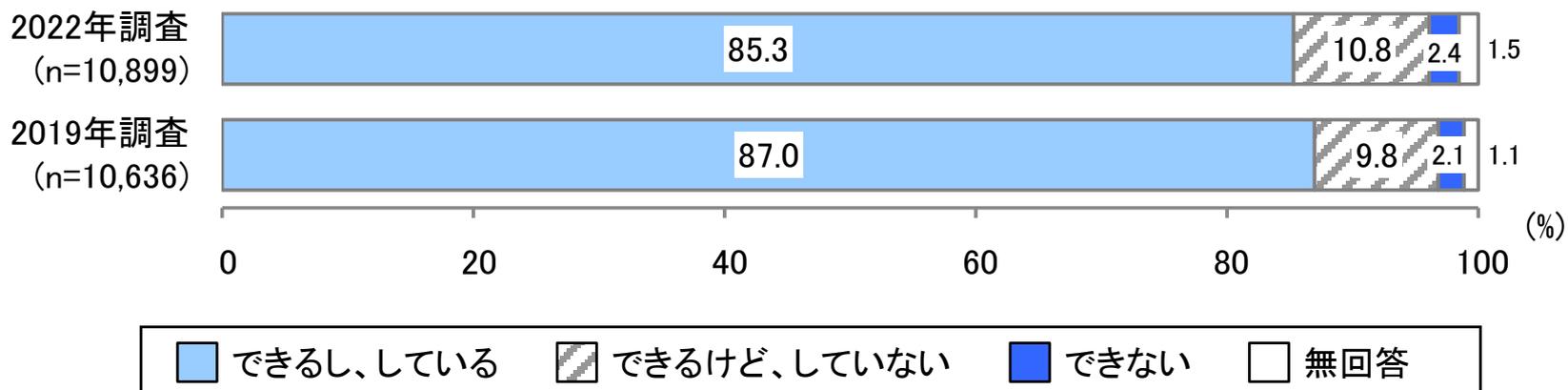
読み書きや人づきあいなど

- 「新聞を読んでいる」人(75.4%)は、2019年調査より6.5ポイント減。
- 「友達の家を訪ねることがある」人(41.8%)は、2019年調査より6.8ポイント減。
- 「病人を見舞うことができる」人(82.3%)は、2019年調査より6.3ポイント減。



15分位続けて歩くこと

- 15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」(85.3%)が最も多く、大きな差はみられない。

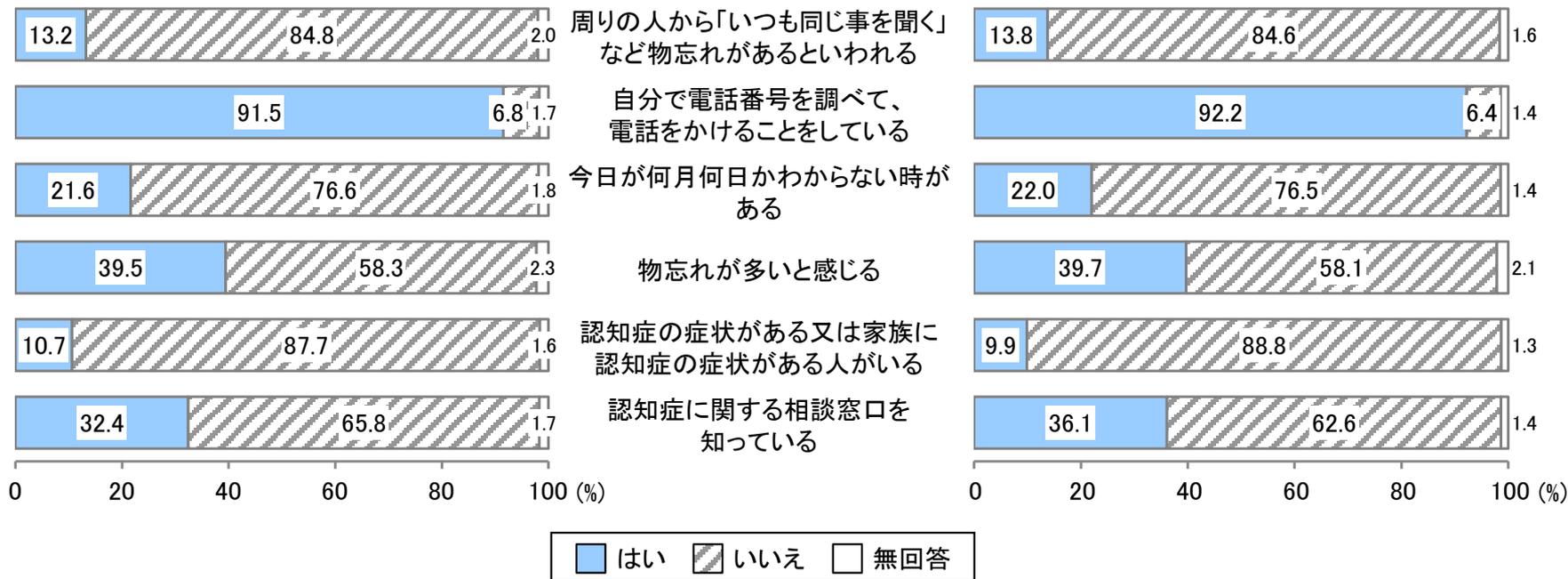


物忘れや認知症について

- 「認知症に関する相談窓口を知っている」人(32.4%)は、2019年調査より3.7ポイント減。
- それ以外の項目は、大きな差はみられない。

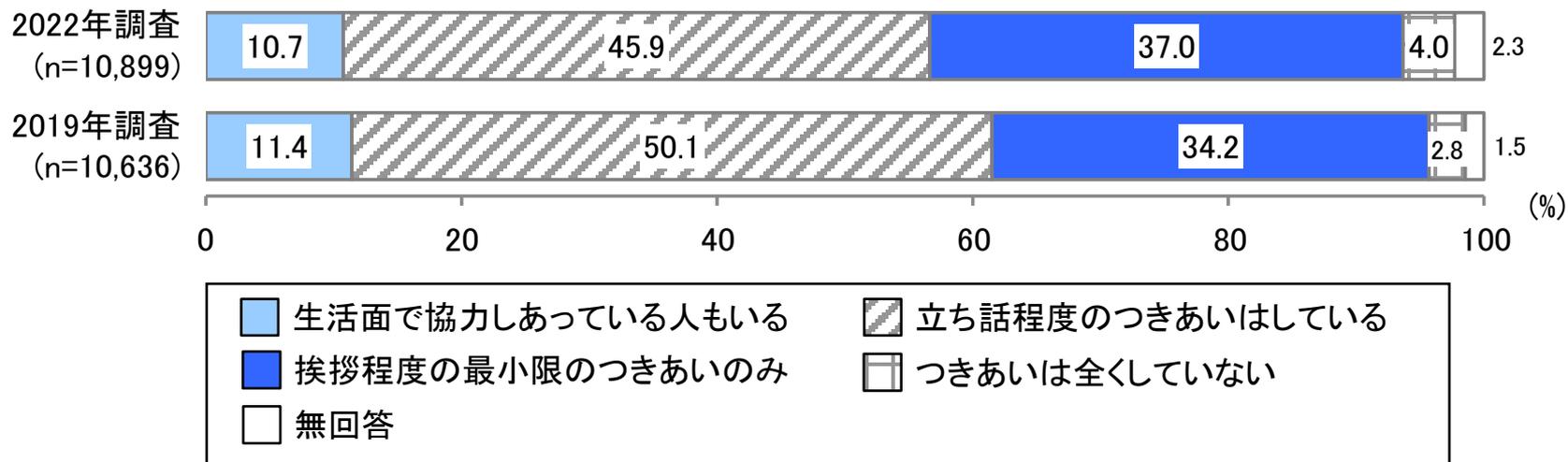
2022年調査(n=10,899)

2019年調査(n=10,636)



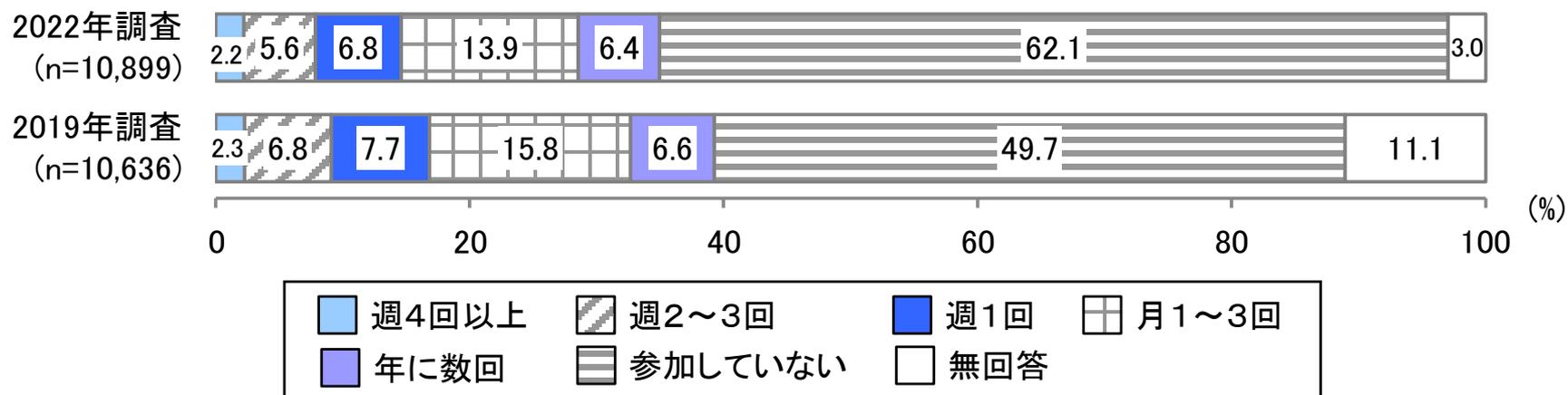
近所づきあいの状況

- 近所の人とどのような付き合いをしているかでは、「立ち話程度のつきあいはしている」（45.9%）が最も多いが、2019年調査より4.2ポイント低くなっている。



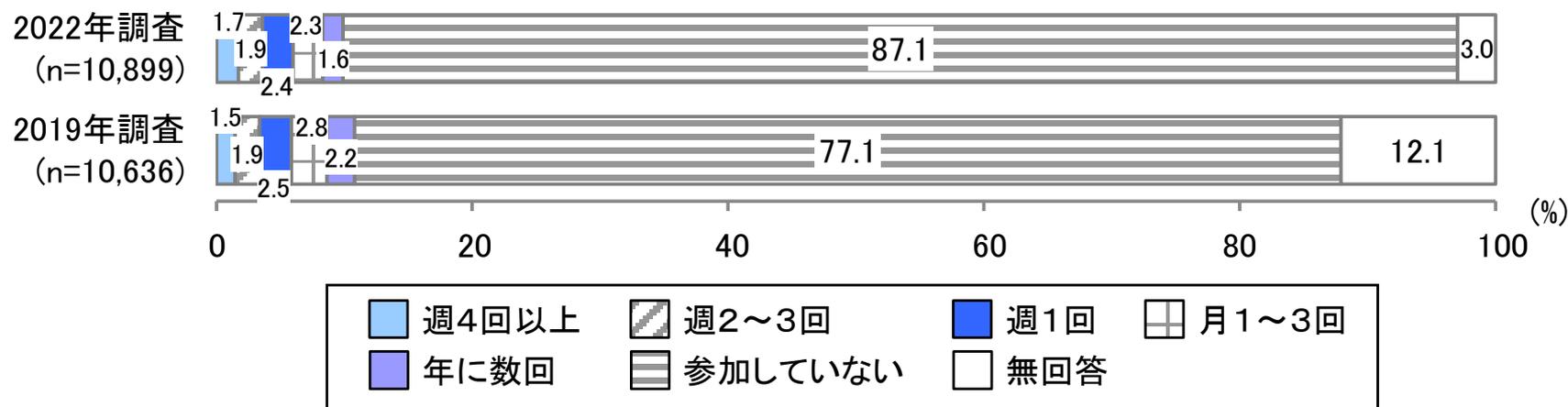
趣味関係のグループの参加頻度

- 趣味関係のグループは、「参加していない」（62.1%）が2019年調査より12.4ポイント高くなっている。



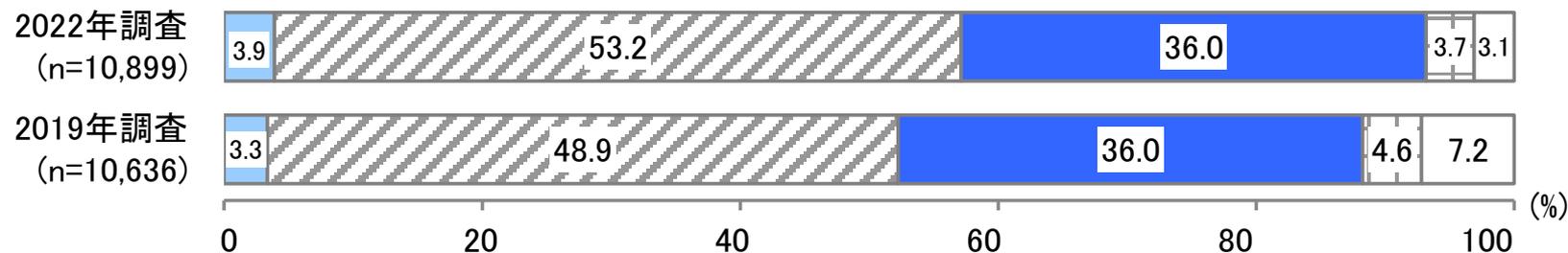
健康体操やサロンなどの介護予防のための通いの場の参加頻度

- 健康体操やサロンなどの介護予防のための通いの場は、「参加していない」(87.1%)が2019年調査より10.0ポイント高くなっている。



参加者としての参加意向

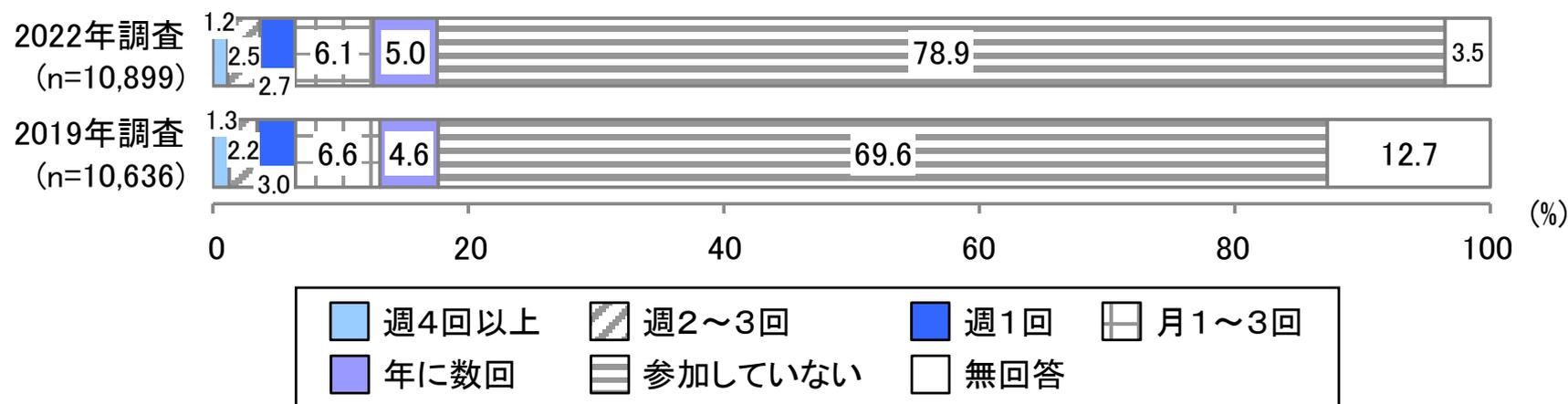
- 地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加したいかについては、『参加意向がある』（「是非参加したい」+「参加してもよい」の計）（57.1%）が2019年調査より4.9ポイント高くなっている。



■ 是非参加したい ■ 参加してもよい ■ 参加したくない ■ すでに参加している ■ 無回答

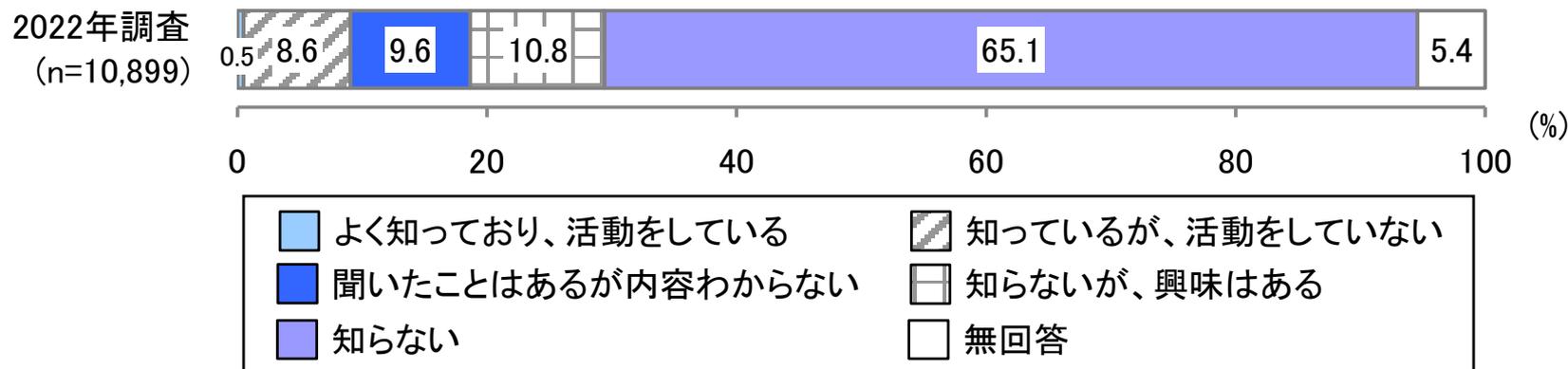
ボランティアのグループの参加頻度

- ボランティアのグループは、「参加していない」(78.9%)が2019年調査より9.3ポイント高くなっている。



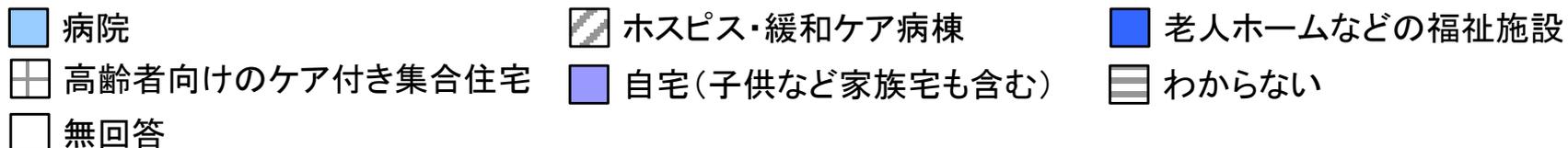
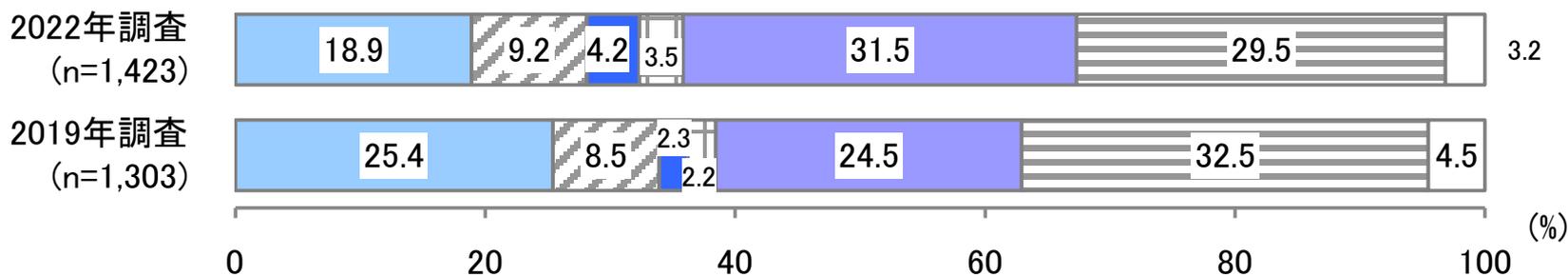
K O B E シニア元気ポイントの認知度

- K O B E シニア元気ポイントについて、『内容を知っている』（「よく知っており、活動をしている」+「知っているが、活動をしていない」の和）は9.1%となっており、「知らないが、興味はある」が10.8%となっている。



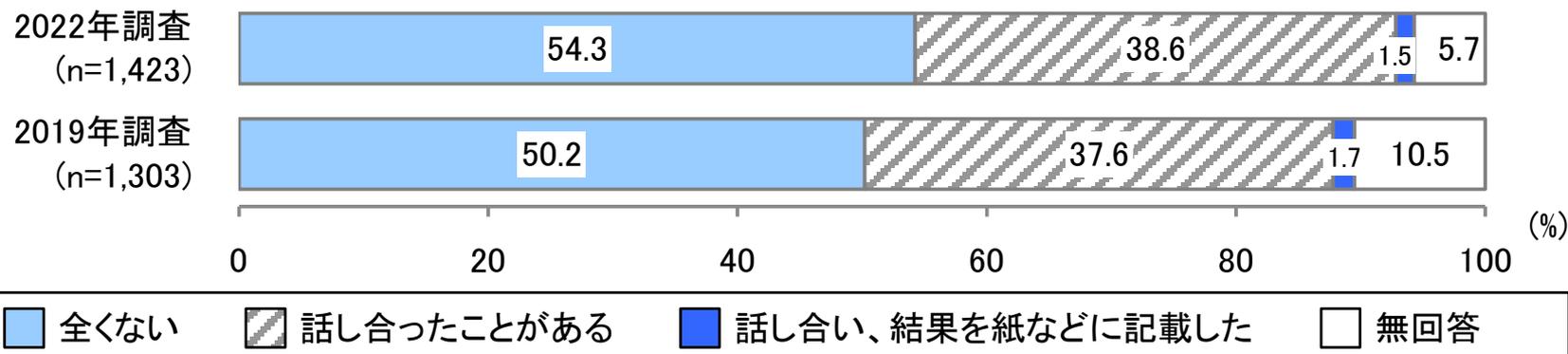
終の棲家

- 自分が病気などで最期を迎えるとしたら、どこで迎えたいかについて、2019年調査より「病院」(18.9%)は6.5ポイント低くなっており、「自宅(子供など家族宅も含む)」(31.5%)が7.0ポイント高くなっている。



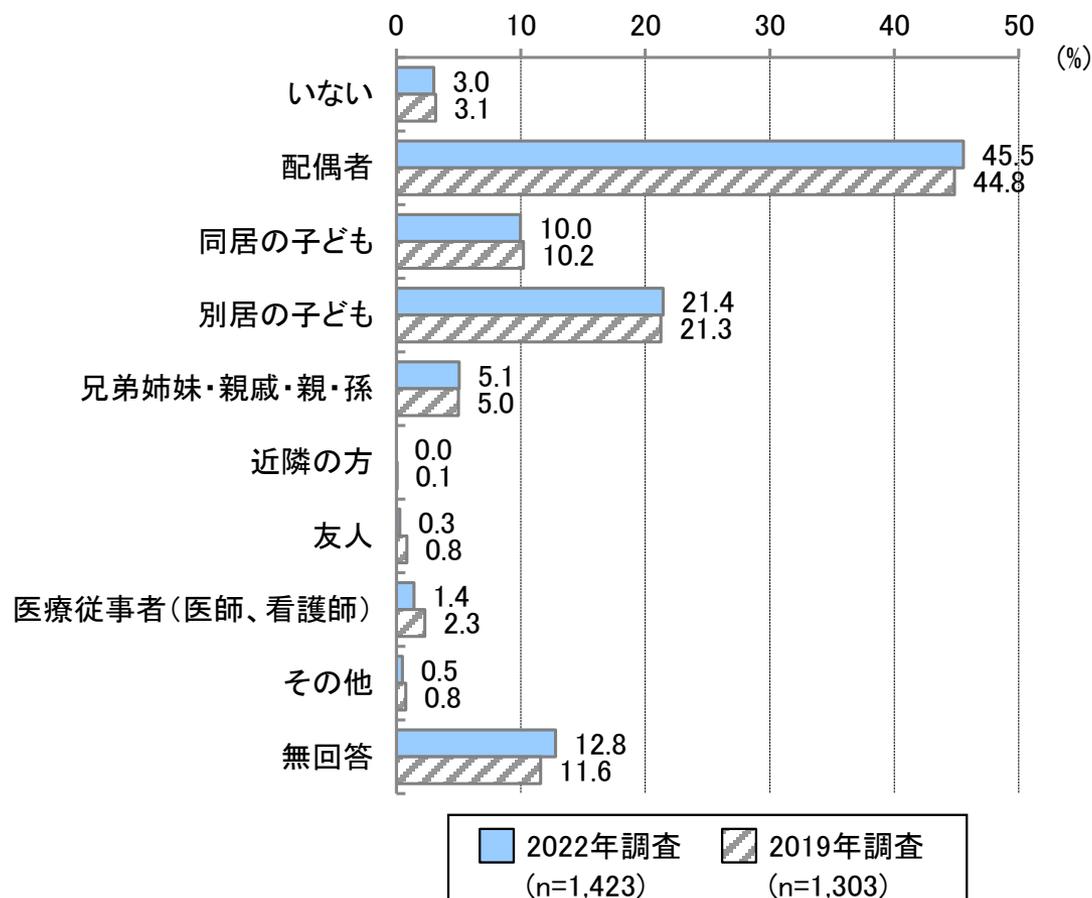
終の棲家についての話し合い

- 終の棲家について、誰かと話し合いをしているかについて、「全くない」(54.3%)が2019年調査より4.1ポイント高くなっている。



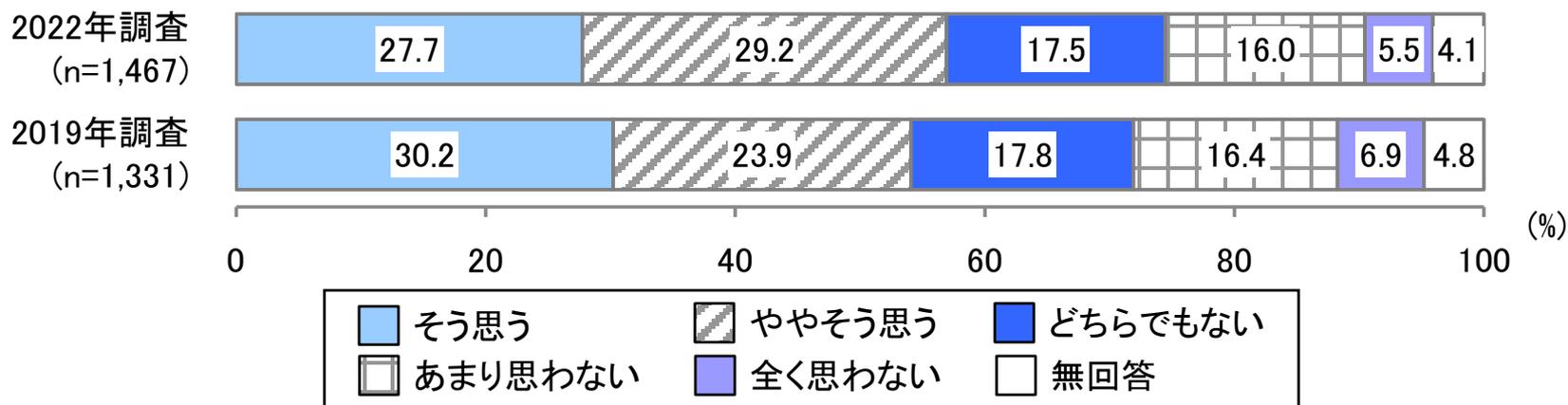
意思決定できない場合、医療・療養に関する方針を決める人

- 自分が意思決定できない場合に、医療・療養に関する方針を決める人について、大きな差はみられない。



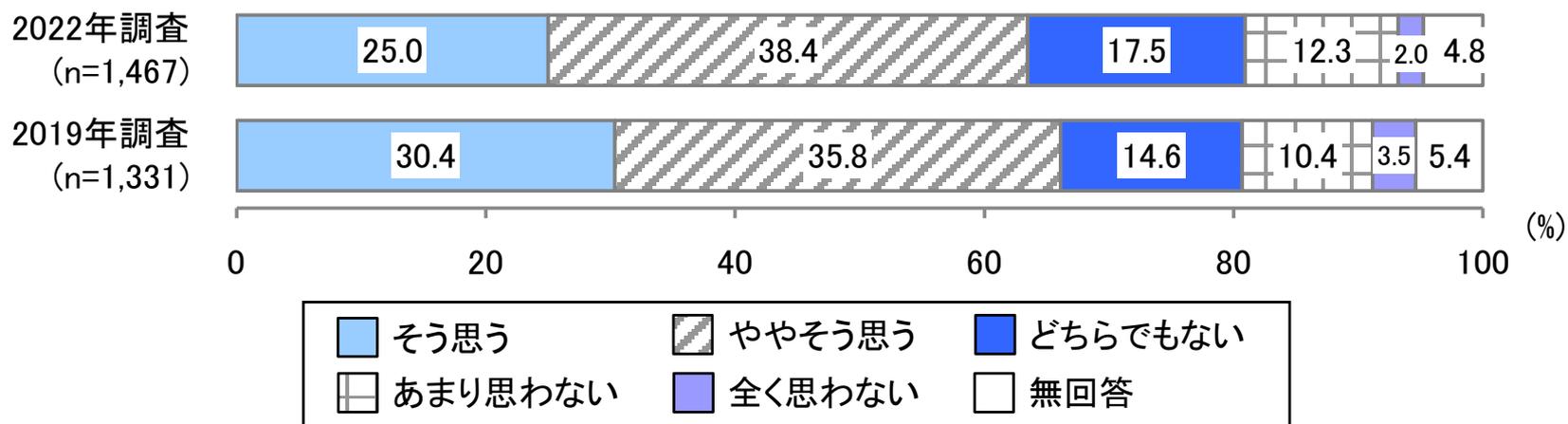
自分が認知症になっても、自宅での生活を続けたいか

- 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいかについて、『そう思う』（「そう思う」+「ややそう思う」の計）（56.9%）は2019年調査より2.8ポイント高くなっている。



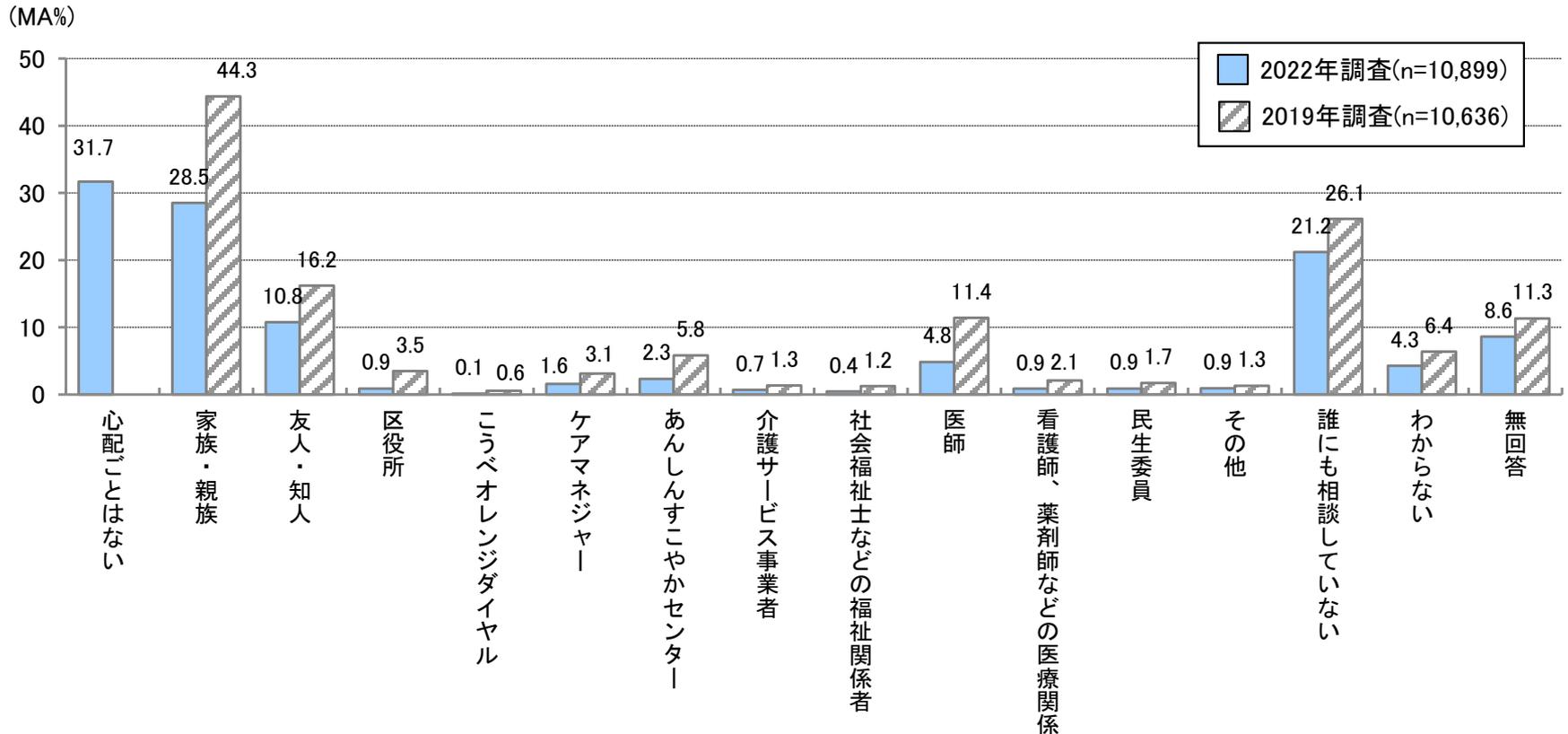
家族が認知症になったら近所の人などにも知っておいてほしいか

- 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいかについて、『そう思う』(63.4%)は2019年調査より2.8ポイント低くなっている。



認知症に関する心配ごとの相談先

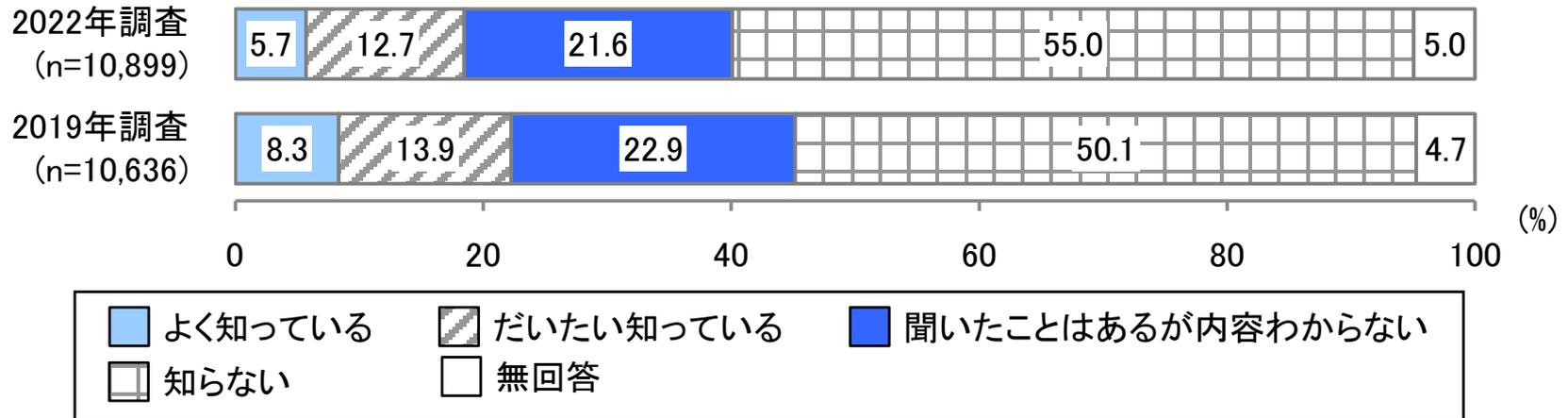
- 認知症に関する心配ごとの相談先については、新規項目の「心配ごとはない」(31.7%)を除き、すべての項目が2019年調査より低くなっている。
- 特に「家族・親族」(28.5%)は15.8ポイント低くなっている。



※「心配ごとはない」は今回調査の新規項目

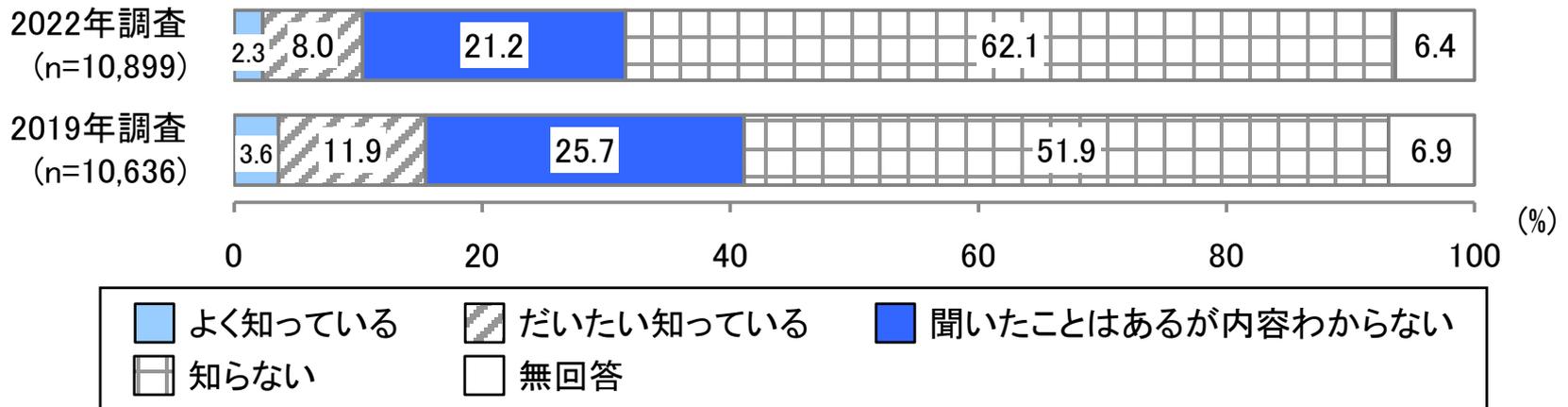
認知症診断助成制度の認知度

- 認知症診断助成制度について、「知らない」(55.0%)が2019年調査より4.9ポイント高くなっている。
- 『知っている』(「よく知っている」+「だいたい知っている」の計)(18.4%)は2019年調査より3.8ポイント低くなっている。



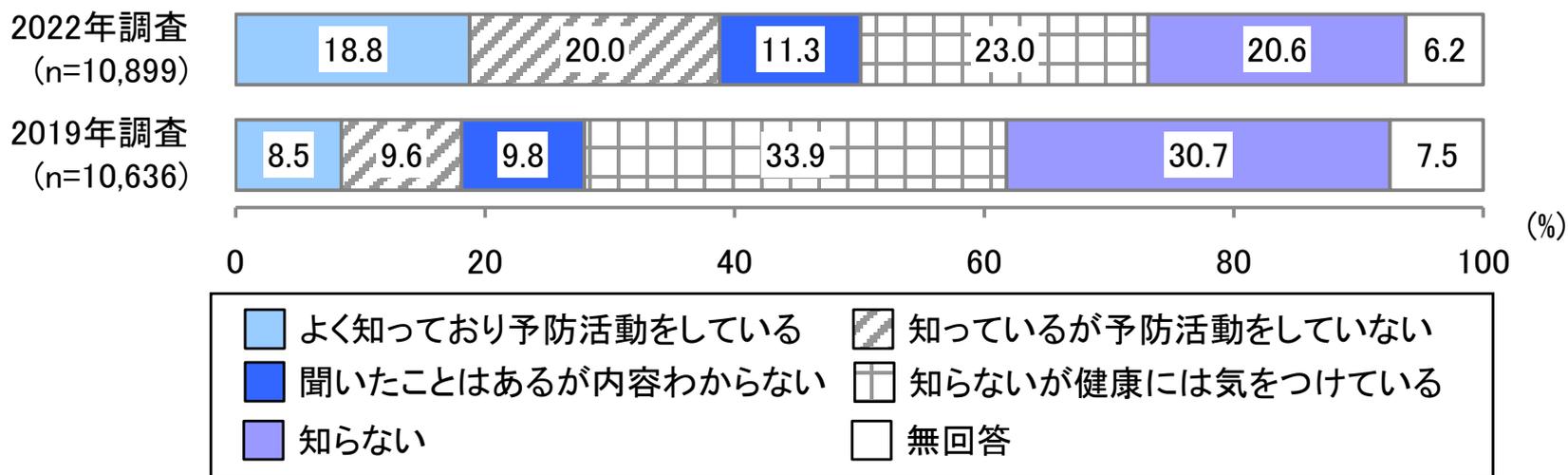
認知症事故救済制度の認知度

- 認知症事故救済制度について、「知らない」(62.1%)が2019年調査より10.2ポイント高くなっている。また、『知っている』(10.3%)は2019年調査より5.2ポイント低くなっている。



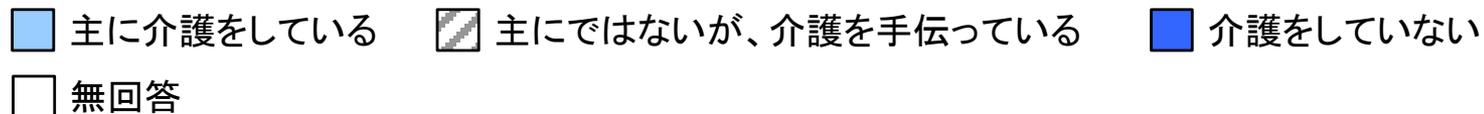
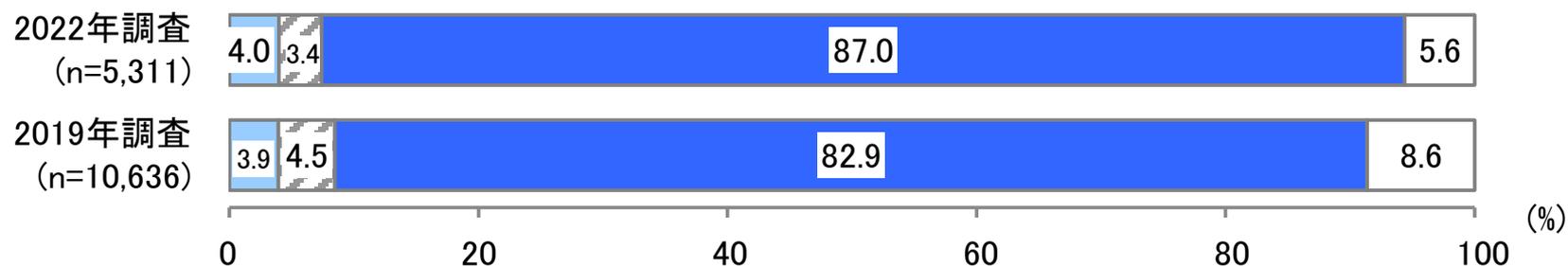
フレイルの認知度

- フレイルについて、「よく知っており予防活動をしている」(18.8%)が2019年調査より10.3ポイント高く、「知っているが予防活動をしていない」(20.0%)も含めた『知っている』(38.8%)は20.7ポイント高くなっている。



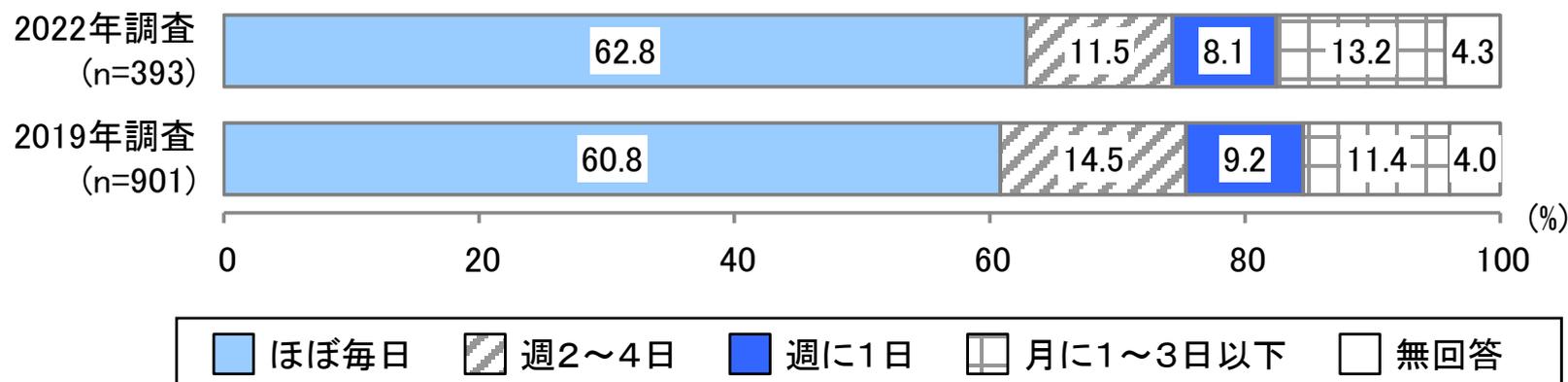
家族への介護

- 家族の介護をしているかについては、「主に介護をしている」(4.0%)と「主にではないが、介護を手伝っている」を合わせた『介護をしている』は7.4%で、2019年調査より1.0ポイント低くなっている。



平均的な介護頻度

- 介護をしている人の平均的な介護頻度については、「ほぼ毎日」(62.8%)が最も多く、2019年調査より2.0ポイント高くなっている。



今後の介護保険料に対する考え

- 今後の介護保険料に対する考えについて、「サービスを見直し介護保険料を抑制」(40.9%)は、2019年調査より1.3ポイント低くなっている。
- 「介護保険サービスの現状を維持する」(28.9%)は、2019年調査より6.1ポイント高くなっている。
- 「介護保険サービスを更に充実させる」(9.5%)は、2019年調査より1.5ポイント高くなっている。

